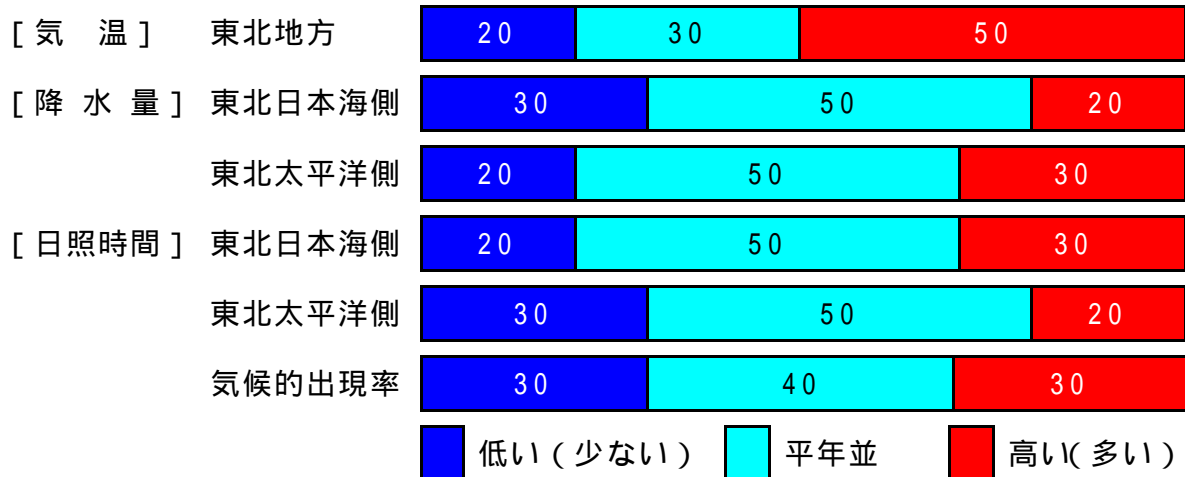


## 東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：10 月 23 日～11 月 22 日）

平成 11 年 10 月 22 日 仙台管区气象台

### 1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



[ 気 温 ]: 東北地方は「高い」の可能性が大きく、その確率は 50% です。次に大きい確率は「平年並」で 30% です。「低い」の確率は 20% と小さい。

[ 降 水 量 ]: 東北日本海側は「平年並」の可能性が大きく、その確率は 50% です。次に大きい確率は「少ない」で 30% です。「多い」の確率は 20% と小さい。  
東北太平洋側は「平年並」の可能性が大きく、その確率は 50% です。次に大きい確率は「多い」で 30% です。「少ない」の確率は 20% と小さい。

[ 日照時間 ]: 東北日本海側は「平年並」の可能性が大きく、その確率は 50% です。次に大きい確率は「多い」で 30% です。「少ない」の確率は 20% と小さい。  
東北太平洋側は「平年並」の可能性が大きく、その確率は 50% です。次に大きい確率は「少ない」で 30% です。「多い」の確率は 20% と小さい。

### 2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

東北地方は、低気圧や高気圧が交互に通る、天気は周期的に変化するでしょう。

この期間の平均気温は高い見込みです。

平年の晴れ日数は約 16 日です。

各予報期間の天候の特徴

1 週目…………… 気圧の谷が通る期間の中頃に曇る日があるほかは、おおむね（10 月 23 日～10 月 29 日）晴れるでしょう。

平均気温は高い見込みです。

平年の晴れ日数は約 4 日です。

なお、詳細は週間天気予報を参照して下さい。

2 週目…………… 天気は周期的に変化するでしょう。

（10 月 30 日～11 月 5 日）平均気温は平年並の見込みです。

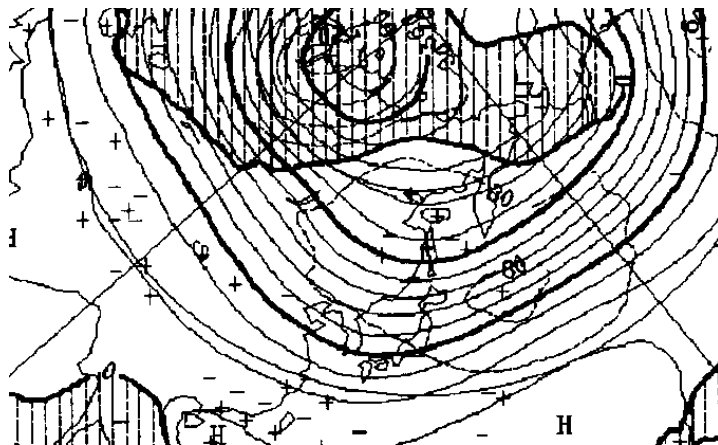
平年の晴れ日数は約 4 日です。

3～4 週目…………… 天気は周期的に変化するでしょう。一時冬型の気圧配置にな（11 月 6 日～11 月 19 日）る時期がある見込みです。

平均気温は平年並の見込みです。

平年の晴れ日数は約 8 日です。

### 予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）



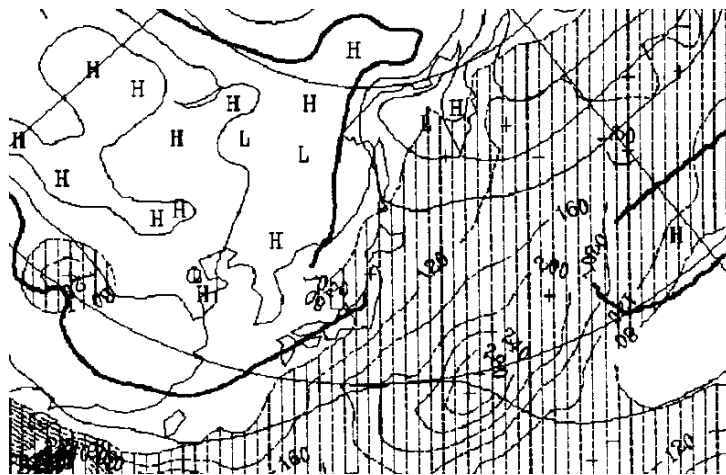
月平均の 500hPa 高度・偏差  
(等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差)

#### ・ 500hPa 高度・偏差

月平均でみると、日本付近は日本の東海上を中心とした正偏差に覆われる。流れはゾーナル<sup>注1</sup>だが、西谷<sup>注2</sup>傾向を示す。このため、天気は周期的に変化するが、低気圧の影響を受けやすい時期がある見込み。

注1) ゾーナル：偏西風の南北の蛇行が小さい状態。低気圧や高気圧が順調に東進し、天気は周期的に変化しやすい。

注2) 西谷：上空で日本の西側が気圧の谷となり、南から暖かく湿った空気が入りやすい。



月平均の地上気圧と降水量  
(等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上)

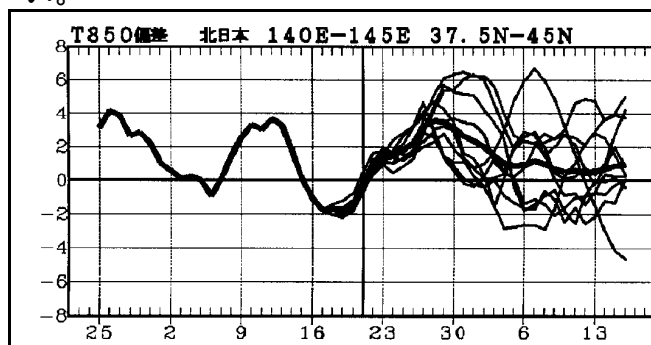
#### ・ 地上気圧と降水量

月平均でみると、本州の南海上を進む気圧の谷と日本の北を通過する気圧の谷に対応して、関東～北日本にかけて降水域が広がっている。

日本付近に特徴的な気圧配置が見られないので天気は周期的に変化する見込み。

### 3. 北日本 850hPa の気温偏差の実況と各アンサンブルメンバーの予想

北日本 850hPa の気温は、アンサンブルメンバーの平均でみると、1、2 週目は高めが予想され、3 週目以降平年並に戻る予想。2 週目以降はメンバーのばらつきが大きい。



北日本 850hPa 高度（上空約 1500 m）での気温偏差の実況と予想

縦軸：気温偏差（℃）横軸：日付

発表日以降の細線は各アンサンブルメンバーの予想値、太線は平均値。

注)・資料の内容を他の要素により修正して予報を組み立てることがあります。

・ 850 hPa の気温は、地上の気温と必ずしも対応しないことがあります。

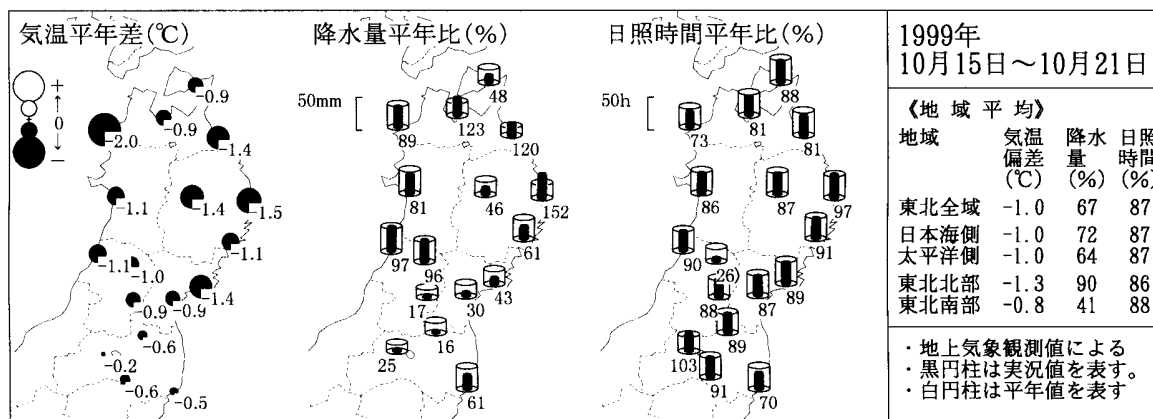
注：1 か月予報では、よく似た初期値から出発した 10 個の数値予報結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンブル予報といい、10 個の予報結果のそれぞれをアンサンブルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測し

やすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

#### 4．最近1週間（10月15日～10月21日）の天候の経過

この期間は、19日と21日に移動性高気圧に覆われて全般に晴れた他は、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。冬型の気圧配置となり気温が下がった17、18日は、東北各地の山で初冠雪が観測され、19日朝には盛岡と山形で初霜と初氷が観測された。

平均気温は東北地方で偏差が - 1.0 と低かった。降水量は東北地方で 67% と平年を下回った。日照時間は東北地方で 87% と平年を下回った。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）